

事務事業名	若草なかよし児童館活動事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5120				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	市立児童館	課長名	清水 寿美				
			所属担当	児童館担当	担当者名	深澤 貴子				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 03	項 02	目 07	細目 030	細々目 04
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	28	児童福祉の充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 5 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			法令根拠	南アルプス市立児童館条例・施行規則					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 児童館は、遊びを通して児童(18歳まで)の健全育成を目的とする児童厚生施設である。 ここでは子どもにとつての遊びは、総合的に学べる学習の場として位置づけられている。 年間を通して0歳から18歳までの児童に遊びを提供し、幼児教室・親子交流・地域住民との交流・ボランティアの育成・学校との連携など地域全体を取り込んだ子育て支援を行う。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				消耗品費	199	燃料費	4			
			賄材料費	55	医薬品費	5				
			計 263							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 子育てサロン, 工作教室(親子・小学生), クリスマス会, 児童館まつり, 館外体験研修, 図書館とコラボ, 放課後子ども教室 27年度活動予定 子育てサロン, 工作教室(親子・小学生), クリスマス会, 児童館まつり, 館外体験研修, 図書館とコラボ, 放課後子ども教室
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内の児童・及び子育てに関わる市民。
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	作り出す事の楽しさから、創作・想像する事に興味を持つ。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	想像力や協調性を学び、食育等色々な事に興味から興味・体験へと繋げる。

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	⇒	イベントの参加者数	人
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	⇒	南アルプス市の人口	人
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	⇒	イベントへ参加しての満足度調査	%
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	⇒	来館者数	人

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	68	52	76	66	66	66
		一般財源	千円	160	232	187	184	184	184
事業費計(A)		千円	228	284	263	250	250	250	0
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	170	170	170	170	170	170
		人件費計(B)	千円	774	774	774	774	774	774
(A)+(B)		千円	1,002	1,058	1,037	1,024	1,024	1,024	0
活動指標	アイウ	人	609.0	1,450.0	1,450.0	1,450.0	1,450.0	1,450.0	
対象指標	アイウ	人	73,684.0	73,211.0	72,963.0	72,963.0	72,963.0	72,963.0	
成果指標	アイウ	%	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
上位成果指標	アイ	人	9,906.0	11,408.0	11,408.0	11,408.0	11,408.0	11,408.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成5年4月旧若草町にて児童福祉における事業として児童館を建設、国庫補助事業(児童環境づくり基盤整備事業の児童ふれあい交流促進事業費)の支援事業として実施した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	子育て家族の勤務状況の変化が見られる。母親の就労率が高くなってきている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	子育て支援の地域拠点、不登校の居場所づくり、児童虐待の早期発見、地域異世代の交流連携など児童館の役割の必要性が求められている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	地域(藤田区)と交流を深め、協力してイベントを開催した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	プラネタリウムを使い春・夏・秋・冬に教室を開催して、多くの子どもが四季折々の星座を楽しんでもらえるよう改善した。

事務事業名	若草なかよし児童館活動事業	所属部	保健福祉部	所属課	市立児童館
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 児童福祉の充実を目標として、児童の健全育成に繋がっている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 地域住民やNPO関係機関の情報を集め連携を図り、それらをつなぐ事業を行うなど子育てに関するコミュニティワーク活動によって子育てがしやすい地域づくりを担うことをめざすためには、公共関与が妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 児童の安心で安全な遊び場として、地域の子育て交流拠点として児童館の役割の必要性がますます求められている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 児童館の活動を魅力あるものにするように児童厚生員への研修参加の機会を増やす。 保育の経験ゆたかな職員を配置し子どもたちに健全な遊びの提供を行っている。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 公共における他の類似団体が無い。児童にとっての安心・安全な場所の確保。 県の補助事業に基づき行っているため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 限られた予算の中、削減する部分は削減してきた。これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業を行う上で、最少の人数で業務を行っている。これ以上の削減は円滑な業務を行うことが難しくなるため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内各地区に設置されているため、公平である。また、各児童館で行っている事業の受益者負担も公平である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域住民やNPO関連機関の情報を集め、連携を図り、それらをつなぐ事業を行う。また児童館の存在を地域に幅広く知ってもらうため地域の子育てに関わる団体や組織の活動に積極的に参加する。単に延べ利用者数で評価せずに自主事業を十分に精査し、地域の特性を生かした行事を計画し地域の方々の参加協力が得られる取り組みを進め地域の児童館として更なる定着を図る。利用者ニーズに沿った事業を展開するとともに放課後における子どもたちが安心して過ごすことができる場を提供していく必要がある。当面は現行の運営形態を継続する。
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					